

# 新とよはし164号

2024年7月7日  
日本共産党豊橋市議団  
鈴木みさ子・齋藤ひろむ・  
中西みつえ  
連絡先：0532-54-8215

## 新アリーナの市場調査委託業務「日付偽装」問題 「不適正な事務処理」で終わらせてはならない

豊橋市は、5月30日に記者会見を開き、21年12月～22年6月の間に行った、「多目的屋内施設関連市場調査」において「不適正な事務処理」があったと、発表し謝罪をしました。

市が言うところの不適正な事務処理とは、相手方（日本総研）との契約の期限が、令和4年6月20日であったところ、実際は7月20日までかかって、市場調査報告書をつくった。本来なら契約期間の変更をしなければならなかったにもかかわらず、その手続を怠り、完了報告書には完成日を「6月20日」と記載していたというものです。

### ▶議会答弁

市は、2023年3月議会と、同年9月の決算委員会で、「6月20日に完成した」と答弁をしていた点について、担当課長による決算委員会での虚偽答弁について、「書類に沿う形にしなければならないと考え、事実と違う答弁をした」と故意で行なったことを、齋藤議員の質問に対し認めています。

### 市長の謝罪と職員の処分

6月本会議開会の冒頭で、市長が議会に説明、陳謝しました。また、この件では、市長の7月、8月の給料を10%減給、文化・スポーツ部長と当時の課長を訓告、当時の担当職員二人を嚴重注意としました。

### ▶この問題は「不適正な事務処理」ととどまらない

市場調査について、市民の方が市を相手に名古屋地裁に提訴しています。裁判の中で日本総研は、「報告書の大幅な修正が市の主導で進められた」と主張しており、収支予測において、「黒字」となる事業方式の記載がすっぽり削除され、赤字となる方式のみを示したことにより、豊橋市の負担を増大させる調査結果に書き換えられているという点は重大です。これによって、231億円というアリーナ関連予算が過大なものであったということとなった可能性があり、事実関係、市の意図をあらためて説明する必要があります。

また、日本総研が6月20日までに提出したとする報告書を、市は「文書不存在」として情報公開に応じておらず、6月議会では、公文書であるにも関わらず、「組織的に共有していないから」情報公開の対象にならないと答弁している点も見逃せません。

これでは、市にとって都合の悪い文書を「職員が個人的に処理、対応しているから公開の対象でない」と、恣意的な対応ができることになってしまいます。

### ▶百条委員会設置の動議を提出

議会最終日の6月28日に、日本共産党市議団と新しい豊橋の2会派共同で、市議会で昭和40年頃以来という地方自治法百条に基づく調査委員会を設置し、この問題の徹底調査を提案しましたが、他会派の賛同が得られず見送りとなりました。

### ▶幕引きではなく、事実関係を明らかにすることは市の責任

「市場調査」の結果を待たず、2022年5月30日に浅井市長は突如、「豊橋公園への新アリーナ建設」を表明するに至りました。この市場調査をめぐる一連の経過は「不適正な事務処理」ととどまるものではありません。市の説明責任を果たすよう引き続き求めます。

## 日本共産党豊橋市議団 市政報告会

7月15日（月・海の日）13:30~15:30

市民文化会館リハーサル室

☆6月議会報告

☆アリーナ整備・野球場移転計画はどうなっているの？

☆市長選・市議補選にどう臨むか？

など、市議団から報告します。また、みなさんの率直なご意見をお聞きしたいと考えています。

どなたもご参加自由です。ぜひ、お出かけください。



鈴木みさ子



齋藤ひろむ



中西みつえ



## 一般質問より

### 福祉センターの老朽化への対応について 中西みつえ

高齢者が無料で利用できる入浴設備のある公共施設に、地域福祉センターや老人福祉センターがあります。それぞれの福祉センターは、地域の福祉ニーズに応じた各種講座やイベント等の自主事業の実施など、高齢者を中心に施設利用の促進が図られています。老朽化度が高くなってきている福祉センターですが、豊橋市公共施設等総合管理方針では、施設保全計画にもとづき、維持管理・修繕・更新等を実施し、施設の健全な状態を維持するとあります。

#### 突然、浴室廃止が決まった大岩老人福祉センター

昨年9月にお風呂のボイラーが故障し、入浴利用が出来なくなっていた大岩老人福祉センターでは、修繕することなく廃止が決まりました。利用されていた方から私のもとに入浴利用がいつから再開するのか問い合わせの連絡をいただいていたこともあり、再開を待ち望んでいた方にとって入浴利用廃止のお知らせは残念な結果でした。

他の施設での状況を調べたところ、二連木老人福祉センターでは築50年以上経過し、来年1月の大規模改修に伴い浴室の廃止予定となっていることがわかりました。福祉センターの老朽化に伴って、よい福祉サービスがなくなってしまうのは問題ではないかと考え質問することにしました。

#### 利用者の声をまったく聞かず廃止を決めていいのか？

大岩老人福祉センターの浴室廃止の理由と、廃止を決めるにあたって利用者の声を聞いたのかの問いに、「利用者が実人数では30人未満の特定の少数の方であることや、修理費用が高額であることなどから修繕を断念し、今年度から廃止とした。今回の廃止にあたっての意見は聞いていない。」今後の福祉センターの浴場の老朽化に対する対応への考えについては、「施設保全計画に基づく改修のタイミング等を捉え、その時々で、利用者の状況や地域の実情、費用対効果など考慮し、施設ごとに判断していく必要がある」と答えました。

#### 福祉の視点に立ち、利用者の声を聞いたうえで施設保全・改修を！

入浴サービスを続けて欲しいという利用者の声を聞かないで、今回市が拙速に浴室の廃止を決めたことは問題であることを指摘しました。そして今後の施設保全・改修には、福祉の視点に立ち、地域のみなさんや利用者の皆さんの声をしっかり聞いたうえで進めていくよう求めました。



## 設楽ダム促進の意見書に反対



豊橋市議会では意見書調整委員会で全会派で一致した意見書を、国や県に提出することが原則となっています。

ところが、共産党市議団は賛同できないので、全会派の一致には至らなかった「設楽ダムの」意見書が、議員提案で提出されました。

完成予定は10年後、建設費用も3200億円に膨れ上がっています。豪雨災害対策には、豊川の河道掘削や堤防改修、土地利用計画の見直しなど、下流での災害対策が最も有効で、急がれる課題です。

水不足に対する対策はすでにできています。

治水にも利水にも役に立たず、むしろダムに頼る治水は危険であることも訴え、意見書提出に反対しました。

### 新アリーナ及び豊橋公園東側エリア整備・運営事業の 基本協定をTOYOHASHI Next Park グループと締結

豊橋市は7月1日に、5月に決定したアリーナ建設と運営に関する落札事業者との間で、基本協定を締結したと発表しました。

概要は以下のとおりです。

応募者 1社 グループ名: TOYOHASHI Next Park グループ

(代表企業: スターツコーポレーション(株) 構成企業: スターツ東海(株)、前田建設工業(株)中部支店、エリアワン(株)ほか)

入札価格: 230億6,999万700円)

性能評価の特典: 700満点中429.17点



公表されたイメージ図

応募が1社のみのため、評価の比較の対象がありません。低い点数でも選定となる仕組みです。

また、事業者からの事業提案書は非公表のため、どのような提案がされたのかもわかりません。9月議会の契約の議案に向け、内容を明らかにすべきです。